令和8年度　第4回

運営推進会議 議事録

日　時：令和8年10月19日（月） 13:30～14:30　　議事録作成：上田

場　所：福の神　1階　地域開放室

参加者：●大町町会長_今井様 ●運営推進会議副委員長_上野様 ●四柳町会長_今井様 ○金丸出町民生委員_太田様
※白○は欠席 ○ご家族様_森様 ○地域識者 市議会議員_川口様 ●地域識者_三門様 ●羽咋市役所_俵様 ●弘和会理事長_松本
●羽咋事業部部長_北出 ●ライフサポート村友管理者_林 ●事務_上田

以上 9 名

報 告 ：　①　利用者登録状況報告

ぐるーぷほーむ福の神

	R8.8	R8.9
計画	0	0
累計計画	18	18
実績	1	1
累計実績	18	18
契約解除	1	1
予約者	19	19
進捗率	100.0%	100.0%

介護区分別利用者状況

区分	人数	割合
要支援2	0	0.0%
要介護1	4	22.2%
要介護2	5	27.8%
要介護3	4	22.2%
要介護4	3	16.7%
要介護5	2	11.1%
合計	18	100.0%

ボランティア受け入れ状況

	人数	延べ人数
R08.2	0	0
R08.3	1	1
R08.4	2	2
R08.5	1	1
R08.6	2	2
R08.7	2	2
R08.8	3	5
R08.9	3	4

たきのーほーむ福の神

	R8.8	R8.9
計画	1	2
累計計画	29	29
実績	1	2
累計実績	27	28
契約解除	2	2
予約者	1	1
進捗率	93.1%	96.6%

介護区分別利用者状況

区分	人数	割合
要支援1	0	0.0%
要支援2	2	7.1%
要介護1	14	50.0%
要介護2	4	14.3%
要介護3	8	28.6%
要介護4	0	0.0%
要介護5	0	0.0%
その他更新中	0	0.0%
合計	28	100.0%

要介護度別実績報告

	R8.8			R8.9		
	通い	訪問	宿泊	通い	訪問	宿泊
要支援1	0	0	0	0	0	0
要支援2	11	95	0	9	109	0
要介護1	110	359	64	154	432	70
要介護2	138	505	60	99	426	0
要介護3	105	245	56	100	231	48
要介護4	4	0	7	0	0	3
要介護5	0	0	0	0	0	0
合計	368	1204	187	362	1198	121
一日平均	11.9	38.8	6.0	12.1	39.9	4.0

*ライフサポート村とも就労定員状況報告

	R8.8	R8.9
利用計画	520	540
登録者数	23	24
新規獲得	3	1
中止者数	0	0
延べ利用者数	197	229
開所日数	20	22
日平均	9.9	10.4

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
年齢別表	0	4	3	5	4	7	23

	男性	女性	合計
男女比	18	5	23

工賃	R8.8	R8.9
工賃総額	¥158,305	¥177,835
平均工賃	¥16,071	¥17,084

ボランティア登録状況

	R8.8	R8.9
人数	1	1
延べ人数	1	4

◎たきのーほーむ/ぐるーぷほーむ福の神　報告

今月は、2件の看取り、8/27の羽咋市の災害時対応についてのご報告を行いました。

1、**看取りについて**

まず、看取りの1件目として、利用者のご様子について報告いたしました。食事量が徐々に減少していった経過を主治医と家族と職員とでお話合いを行い最後は住み慣れたホームでを希望され約一か月過ごされました。県外在住の孫が駆けつけられ、来所が難しい家族とはビデオ通話を通じて言葉を交わされるなど、家族とのつながりを大切にされていた様子をご報告いたしました。

続いて2件目として、一人暮らしでコールナウを利用されていたAさんの事例について報告いたしました。病気が発覚し、親戚からは施設入居を望まれていたが、ご本人はこれを拒否され、小規模多機能に利用を変更し、泊りサービスも使いながら生活していた。入院されても「はよ帰りたい」と強く帰宅を希望されていたこと、また、病院では特定のものしか口にされませんでした、それでも最期までご自身の意思を貫かれた経過についてご説明いたしました。

2、**8/27の災害について**

8月27日に発生した災害について、当日の職員の行動状況を報告しました。朝の対応が早い時間帯であったことから、事前に決めていた対応手順を十分に実行できず、　その影響で羽咋市内の情報収集が遅れたことをいたしました。こうした状況を踏まえ、当日の対応で明らかになった課題として、以下の点が挙げらました。

- 地区ごとに担当を決め、災害時の状況確認を確実に行う
- 災害用LINEの運用方法を見直し、より使いやすくする
- 一人暮らしの方は、必要に応じて前日から施設で過ごしていただく
- 職員全体で危機感を共有し、災害対応の意識を高める
- BCPの計画を早めに進め、実際に使える形にしていく

参加者からは、災害時の初動について「すぐに動くよりも、雨が弱まってから行動したほうが安全」「水が来ても家が流されることはほとんどないため、慌てず雨がやんでから動くほうが良い」という意見をいただきました。

⑤日々の活動報告ダイジェスト






はくい祭りにて　サマーボランティアにて スイカをいただきました！　はま寿司にて